

水のお話し

私たちは水の中から生まれました。これは確かな事。
だから、水は私たちに生き方も教えているようです。

例えば水はどんなカタチにも変化します。すべての生物の命に無くてはならない最も大切なモノなのになかなか自分の姿を見せず自己主張しない摩訶不思議な存在です。

空気と共に、この世の中で一番大切なモノというのは目で見えないものということを私たちに教えてくれているのかもしれませんがね。

泥水は濁った汚い水？そうかもしれませんが、泥が沈殿すると上には透明な水が現れます。水の中に泥が混じっていただけで水自体は何ら変わっていない。

早く効率的に泥を薬で溶かして無くそうとすると水も変性してしまうのです。このことは薬や手術ばかりで病気を、征服・除去しようとしてきた私たちの考えに何を問いかけているのでしょうか？

私たちの体の60～70%は水と言われています。生物は、水の中で誕生し、30億年は水の中で生活し、やがて今から5億年ぐらい前に陸へと上がりました。そのとき海水を体内に蓄えて陸に上がってきました。ですから、私たちの体液は海水とよく似た成分で構成されています。月の引力によって海が満潮になるとき、人間の体も満潮になりエネルギーが満ちる。体液と同じ羊水の中にいる赤ちゃんは満潮時に生まれ、干潮時にヒトは死ぬことも全く関係ないわけではないのですね。

病気の人と健康な人の体液、これを調べると病人の体液は非常に汚れているといいます。加えて、体液の分子配列も相当乱れているとか。人体を構成する細胞には細胞膜があり、その膜の空いている穴から水が出入りします。出入りする水は栄養を持ち込み同時に細胞内の老廃物を運び出す働きがあり、この作業を十分に行うため、できうる限り分子配列の整ったキレイな水が必要なのです。また最近、この水分子の配列が人の心によって変化することもわかってきました。モノにはすべて波動があり、ひとの心も水の分子構造も波動によって変化します。心の波動によってキレイな水にもなり汚い水にもなるのです。イライラしたり、他人ばかり攻撃したり、そんなマイナス感情だらけの心の波動が自分の体液に少なからぬ悪影響を与えているのかも。栄養のあるモノを食べてジョギングして運動して、これも大事な事ですが、人間の体は、体液がキレイになれば自ら健康になるようになってはいるはず。素直な心で水を飲む。そしてすべてのものに感謝する。これって大切と水は教えてくれているんですね。